



秋田県女性消防団ネットワーク会議

平成二五年度秋田県女性消防団ネットワーク会議が一月三〇日(木)秋田県庁第二庁舎で、県内の女性消防団員・婦人消防隊員五五名を含む一〇〇名が参加し、開催されました。

会議では、中田潤秋田県消防協会長のあいさつに続き、全国女性消防操法大会や全国女性消防団員活性化大会の報告発表、また、青森市青森消防団青桜分団の女性消防団員とヘルスコーディネーター杉山明美氏の講演が行われました。



題 字
初代会長 松野盛吉
定 価 1部 5円
(購読料は年会費を含む)

発行人
〒010-0951
秋田市山王四丁目1番2号
秋田地方総合庁舎内
秋田県消防協会
会長 中田 潤
電話 018-867-7320
FAX 018-863-5910
<http://www.shoubou-akita.or.jp>
E-mail:ask@shoubou-akita.or.jp

印 刷
〒010-0951
秋田市山王7丁目5-29
株式会社 松原印刷社
電話 018-862-8760
<http://www.matsubarainsatsu.co.jp>

報告発表 (一) 第二一回全国女性消防操法 大会に出場して



大仙市女性消防隊
隊長 佐藤美佳子

大仙市消防団に女性が入団したのは平成二二年一月からです。平成二三年一月の当初め式に参加して以来、主に講習を受けたり行事のお手伝いをしたりといったことをして

平成二五年度全国統一防火標語 消すまでは 心の警報 ONのまま

よその女性消防団員の方々の交流を通じて、他でどのような活動をしているかなども参考にしたいと思っていました。何を自分達の活動の柱にするかについて、団員同士の共通認識がなかなか得られていませんでした。

操法大会の出場団を募っているという話を聞き、先ず、団員が興味を持つていかを調べて見ました。その結果、四〇人中二五人が操法にチャレンジしたいと思いい、うち一〇人が大会出場を目指したいと回答しました。

この結果を携えて、団長にお願いし、二月団員向けの説明を行い、雪消えを待って、四月二四日から練習を始めました。六月には団長から出場者のメンバーが発表され、練習日を週三〜四日に増やしました。

七月の支部訓練大会と九月の県消防操法大会での披露を経て、その後は更に練習日を増やし、日没後は投光器や車のヘッドランプを照らして練習を続けました。

台風の影響で中止の可能性もある

春の火災予防運動

四月六日〜二日実施

平成二六年春の火災予防運動は、四月六日(日)から二日(土)までの一週間、全県一斉に実施されます。

平成二六年二月までの県内の火災発生件数は、二九件(速報値)で昨年同期と比べ一件の増となっています。

また、死者数は昨年と同数の四人、負傷者数は一人で六人の増となっております。

みんなで防火に心がけましょう。

住宅防火

いのちを守る七つのポイント

三つの習慣

- 寝たばこは、絶対やめる。
- ストーブは、燃えやすいものから離れた位置で使用する。
- ガスこんろなどのそばを離れるときは、必ず火を消す。

四つの対策

- 逃げ遅れを防ぐために、**住宅用火災警報器**を設置する。
- 寝具、衣類及びカーテンからの火災を防ぐために、**防災品**を使用する。
- 火災を小さいうちに消すために、**住宅用消火器**等を設置する。
- お年寄りや身体の不自由な人を守るために、**隣近所の協力体制**をつくる。

と言われていましたが、大会当日は、風はあるものの、晴天でした。順番を待つ間に他県の操法や応援を見て少々圧倒される思いもありましたが、自分達なりの操法を精一杯やることに専念し、あつという間に終わりました。

選手を経験して自信がついたように思います。今まで、受け身だった操法以外の消防団活動にも積極的に参加するようになり、自分の意見を言えるようになったと思います。隊員は、仲間との強い絆が生まれたと口をそろえて言います。関わったみんなが変化や成長を感じた操法訓練・大会でした。

報告発表 (一)
第一九回全国女性消防団員
活性化ぎふ大会に参加して



由利本荘市消防団
班長 佐藤 美子

開催地高山市は面積の日本一広い市です。

また、大会は飛騨の豊かな自然を感じさせる会場で行われました。

オープニングは、高山市長や地域の消防団長らが、袴姿で祝い唄「めでた」を披露してくださいました。活動事例発表で印象に残ったのは、今治市消防団「カラーガード隊」の活動でした。結成されて一〇年目の節目の年、市民に女性消防団をアピールできる起爆剤的なものを探していたようです。そんな時、三年前の奈良大会でのカラーガード隊の演技を見て、「これだ!」と・・・。

全国一のカラーガード隊を目指しているとのことでした。また、大阪府枚方消防団は、救命講習が年間一〇〇回を超えるほか、女性の目線での防災講座など、インパクトのある楽しい講習会を開催していました。

次の火災予防啓発劇では、北九州市若松消防団のユーモアたっぷり、迫力たっぷりな啓発劇と茨城県阿見町消防団は、全国の仲間の「保育園防火教室」の活動にヒントになれたらしいなと披露された啓発劇でしたが、構成は勿論、テンポ、話し方など全てにおいて、目標にしたい団体でした。

続いての記念講演では、地元出身で「国民のおばさん」と誰からも慕われる物まねタレント「清水ミチコ」さんのトークショー・ミニライブがあり、笑い疲れるくらいのものであったという間の楽しい時間でした。

その後、会場を変えての交流会、名刺を沢山持参し、全国の仲間と交流ができました。昨年の大会開催県としても、嬉しい、サプライズ「火災無子の防災教室」に出演された皆さんおそろいで秋田のテーブルに挨拶に見えられました。

翌日は、日本三大美祭の一つ、高山祭の美しい屋台が観光できる「まつりの森」や印象的な町並みの高山市内を散策し、自然と文化を感じ、余韻に浸りながら帰路につきました。活性化大会も回を重ねるごとに、充実し、内容も盛りたくさんになりました。今回改めて感じたことは、「地域防災力の強化」には女性消防団の活躍が不可欠であるということです。ソフト面では勿論、ハード面でも女性団員がいると良いとでは全く違ってきます。

また、クイズや替え歌、心肺蘇生体操のように「みんなで参加型」の内容が増えていくということですが、防火、防災教室や講座は「楽しく?」は違うのでは?という声もありましたが、楽しければ参加意欲、防災力のアップにも繋がると私は感じました。

最後にこの報告が何か一つ、少しでも皆さんの今後の活動の参考になり、お役に立てることができたら、幸いです。

講演 (一)
青桜分団の現在の活動と
今後の取り組みについて



青森消防団青桜分団
分団長
佐藤祐貴子様
副分団長
田中 茂子様

手話を取り入れた分団活動の紹介、会場が一体となっていました。

講演 (二)
目標を達成する究極のチーム
ワーク・リーダーシップ



ヘルス
コーディネーター
杉山 明美様

バレーボール選手としてオリンピック出場を経験などを踏まえ、挫折や喜びについて熱演されました。

参加者の感想

秋田市 小沼 未佳 班長

私たちも、消防の集いで消防自動車乗車体験を署員と行っていますが、これからは、男性団員との活動をどのようにしていかだと思えました。その提案を今年はしていきたいと思っています。

にかほ市 今野 裕子 班長

身近な感じの内容で、聞きやすかったし、私にとってタイムリーな話でした。昨年から手話を多少・・・ちつとも覚えられなくて、投げ出しちゃってしまいたいような気持ちもあったのですが、思い直す「きつかけ」になりました。

鹿角市 安保 千夏 班長

青桜分団は、毎月いくつもの活動があり素晴らしいと思えました。きつと参加は交代制とか、一部の団員だけに負担が掛からないようにしているのかなあ？と思えました。

秋田県内の仲間に見える貴重な会議だと思えます。大仙市の操法の報告は、自分もやりたくなる様な前向きな発表でした。

大館市 渡部留美子 班長

手話に目を向けるのも、自分達には考えもしていなかったので勉強になりました。個人的には、杉山さんの脳と栄養の話をもうちよつと聞きなりました。

能代市 小林 桃子 団員

杉山さんの講演を聞いていて、高校のバレーボール時代を思い出しました。興味深いお話でしたし、メンタル面で勉強になりました。

湯沢市 後藤 綾 団員

今回参加して何よりも良かったと思ったのは、一緒に参加した団員から「もし自分達が操法をやるとしたら一番員は〇〇だなく」、他の消防団の人達を見ていると、私達もまだやめられないなあ〜という言葉をきくことが出来たことでした。会議の内容も充実していて、大変ためになりました。

仙北市 西宮 美春 班長

手話だけでなく、活動内容、特に男性団員と行っている活動は是非私達も実現したいと思えます。また、入団のきつかけを聞いて身近に感じるところもあり、あつという間の時間でした。入団促進のことも話していたありがたかったです。

秋田市 松本 恵 班長

青桜分団さん、やはり地元で根ざした活動だなあ・・・と、たぶん手話も元々必要として使っていた方がいて広めたのかな？年間通じて活動に活気が見られますし、キチンとボランティア精神と誇りを持っていると感じました。

☆☆☆ 松本恵さんには、今回の会議の司会をお願いしました。☆☆☆

日本消防協会代議員会

〓 四月から新法人に移行〓



財団法人日本消防協会代議員会が二月二八日(金)、東京都港区虎ノ門の「日本消防会館」で開催され、平成二六年度の事業計画や予算などが審議され、全議案が原案のとおり承認可決されました。なお、日本消防協会は、平成二六年四月から公益財団法人に移行します。

■平成二六年度の主な行事

九月一日 全国消防殉職者慰霊祭
十一月八日 全国消防操法大会
(東京臨海広域防災公園)

*秋田県は、ポンプ車の部一九番目に出場
十一月四日〜十五日

全国女性消防団員活性化ちば大会
二月八日〜十二日
消防団長科研修

一月一三日〜一六日
消防団幹部特別研修

二月四日〜六日 (男性の部)
幹部候補中央特別研修

二月一八日〜二〇日 (女性の部)
幹部候補中央特別研修

三月一〇日 日本消防協会定例表彰式

最高栄誉賞「まとい」を授与

〓 大仙市消防団〓



二月二八日(金)、ニッショーホールにおいて、第六六回日本消防協会定例表彰式が行われ、大仙市消防団は特別表彰「ま

とい」を受章しました。秋田県内では、平成一九年度に三種町消防団が受章して以来、六年ぶりです。



また、優良消防団として、由利本荘市消防団には、表彰旗が授与されました。誠に、おめでとうございます。



第37回

消防職員意見発表秋田県大会

秋田県消防長会

第三七回消防職員意見発表秋田県大会(主催:秋田県消防長会)が二月一四日(金)、秋田市の「秋田ビューホテル」において行われました。この大会は、若手消防職員に職責を再確認させ、消防士の在り方を提案させる場として毎年開催されております。

今大会では、県内一三消防本部から選抜された若手消防職員が、日頃の業務の中から問題点を抽出し、その対応策や今後の展望などの考察を加え、それぞれのテーマに沿って、堂々と力強く訴えていました。

審査の結果、最優秀賞一点、優秀賞二点が選ばれました。

■最優秀賞

大曲仙北広域消防本部

消 防 士 中 谷 壮 志

子供から始まる「救急教育」

■優秀賞

湖東地区消防本部

消 防 副 士 長 佐 藤 誠 也

上級救命講習受講拡大運動

秋田市消防本部

消 防 副 士 長 三 浦 亮

互いの目線から作る形

意見発表のテーマと発表者名 (発表順)

- 防災のプロとして ~団結~
横手市消防本部 古 内 裕 輝
- みんなの夢守るため
大館市消防本部 内 山 亘 弘
- 一番大切なもの
北秋田市消防本部 櫻 田 敬 大
- 空を見て力を抜いて浮いてごらん
にかほ市消防本部 今 野 広 貴
- 上級救命講習受講拡大運動
湖東地区消防本部 佐 藤 誠 也
- 心をつなぐテレパシー
由利本荘市消防本部 鈴 木 陽
- 一本の消化器から
男鹿地区消防本部 石 黒 篤
- 防災意識向上のために
鹿角広域消防本部 高 田 陽 平
- 子供から始まる「救急教育」
大曲仙北広域消防本部 中 谷 壮 志
- 互いの目線から作る形
秋田市消防本部 三 浦 亮
- 消防活動の幅を広げるために
五城目町消防本部 渡 邊 雄 大
- 命を守る「避難」
能代山本広域消防本部 佐 藤 雄 司
- 未来につなげる予防
湯沢雄勝広域消防本部 高 橋 遼

最優秀賞の大曲仙北広域消防本部中谷消防士は県代表として、四月二四日(木)、青森市で開催される東北大会に出場します。ここで、最優秀賞を受賞した意見を紹介します。

子供から始まる「救急教育」



大曲仙北広域消防本部

中 谷 壮 志

「心臓マッサージをやって下さい」「二分間に百回のリズムですよ」、「も

っと深く強く押し続けて下さいね」とある救命講習での事です。参加者のほとんどが七〇歳以上のお年寄り。私がいつものように一人一人に声をかけながら回っていると、一人だけ顔を真っ赤にして頑張るお年寄りがいました。「無理しないでください」と声をかけると「これはキツイな。家に帰っても年寄りばかりで俺がやるしかないし、こういう事、家の人誰も分からないからさ」、この声を聞き私は思いました。大切な命を救うには、命をつなぐリレー、近くにいる人の素早い通報、手当てがスタートとなり、救急隊、病院へとパトロンが繋がらなければなりません。



では、救急教育の一例を紹介しま
す。この
プレート
をご覧ください。
子供た
ちに「皆
さんは屋
根の下で
倒れてい

しかし、お年寄りしかいなければ、素早い通報も手当も難しくなり、救命というゴールが遠くなります。誰かが手をさしのべ、二人三脚でゴールできる仕組みが出来ないものか。救急の知識や技術を持つ人が増え、お年寄りを助けるたくさんの手を生み出すことは出来ないだろうか。そこで私は、小学校で行われている防災教育に「救急教育」の内容を取り入れることを提案します。現在、小学校では様々な場面を想定した避難訓練や、東日本大震災の被災地として交流している中学校の活動に関わる取り組みなどを通して、防災意識を醸成したり、福祉施設への訪問活動や障害者の疑似体験から、思いやりの心を育んだりする取り組みが行われていると聞いています。こうした子供たちが救急教育の内容を学ぶことで、弱い者を助ける優しさや行動力、お年寄りを敬う心、命を大切にすることを一層育まれると思います。

る人を発見しました。皆さんはこの人が何が起こったと思います？皆さんが出来ることは何でしょうか？」と問いかけます。「声をかける？それとも近づいてみますか？」「屋根から雪が落ちてこないかなあ？」「一人で大丈夫かな？」このように問いかけを進めて反応を待ちます。六年生には、四人一組の救急隊となつてもらい「この人、今どこが痛いのかな？」「頭から血が出ているけど、どうしたらいいのかな？」など子供たちの状況に応じて、より詳しく聞いかけます。こちらから話すだけでなく、問いかけることで、子供同士で考え、問題を解決するためにチームで協力することの大切さや、病气やケガに対する知識が必要なことを感じてもらいたいと思います。こうした体験を積むことにより、もしプレートのような場面に遭遇して、怖いと思う心があっても、進んで手を差し伸べることで出来る人に育つてくれるのではないのでしょうか。秋田県は、日本一高齢化が進む県です。しかし、日本一「救急教育」の浸透している県・秋田、救命率の高い県・秋田、高齢化社会に真正面から向き合っている県・秋田であれば安心して暮らせる県・秋田であることに間違いはありません。胸を張って「日本一の高齢県・秋田」と言えるよう、今一歩前へ進むべき時ではないのでしょうか。



能代市立東雲中学校



能代市立第二中学校

消防団百二十年・自治体消防六十周年記念大会において、消防放水実技を披露した能代市少年消防団と、団員が在籍する能代市立第二中学校、並びに同東雲中学校に(財)日本消防協会長から感謝状が贈呈され、去る二月六日(木)、(公財)秋田県消防協会中田潤会長が両校を訪れ、それぞれの校長に伝達しました。

能代市少年消防団に
感謝状が贈呈される

森田ポンプ
桜ホース・ソフト吸管
各種消火器

ラビットポンプ
消防被服一式
消防機器一式

株式会社 能代消防センター
株式会社 協立

〒016-0846 能代市栄町12の3
TEL (0185) (52) 6494
(52) 6361

地域の防災、災害対策に貢献！

消 防
ポンプ自動車
小型ポンプ
ホース

設 備
火災報知器
スプリンクラー
消火器

猿田興業株式会社

秋田市山王六丁目1番24号 TEL 018 (863) 1551(代)
山王セントラルビル7F FAX 018 (824) 3651

消防学校「秋田県防災学習館」リニューアル・オープン

秋田県総合防災課

秋田県では、東日本大震災の教訓を受け、県民への防災知識の普及・啓発をより積極的に推進するため、老朽化した秋田県消防学校（由利本荘市岩城）疑似体験施設を機能強化し、三月一日「秋田県防災学習館」としてオープンしました。

防災学習館は、体験型学習施設で、高い技術を取り入れたいろいろなシミュレーション装置を活用し、地震・煙・初期消火等の体験ができます。また、防災シアターやQ&Aコーナーなどにより、子供から大人まで楽しみながら学習することができます。

防災学習館の主な設備

■地震体験コーナー

大型映像を見ながら、東日本大震災をはじめとした過去の大地震や想定秋田沖地震の体験と、震度一〜七の揺れの体験ができます。

■Q&Aコーナー

タッチ式パソコンを使用して、クイズに挑戦しながら防災の基礎を学ぶことができます。

■初期消火体験コーナー

大型スクリーンを使用した体験ブースで、初期消火のポイントが学べます。二組が同時に体験できます。

■煙中体験コーナー

姿勢センサーや音響演出を設置し、よりリアルに煙中からの避難体験ができます。

■防災シアター

一五〇インチの大型スクリーンを備えた四二人着席可能なシアタールームで、オリジナル防災啓発映像などが視聴できます。

■防災学習・ライブラリー

豊富な書籍・映像資料やインターネットを使用して、防災に関する知識を深めることができます。

■通報体験コーナー

モニターに映し出される火災・事故・救急シーンを見て、適切な一一九番通報について訓練することができます。



開館時間 午前9時～午後4時
休館日 年中無休 (12月29日～1月3日を除く)
※団体利用の場合は予約して下さい。
[お問い合わせ先]
秋田県防災学習館
由利本荘市岩城内道川字築館1-1
TEL 018-73-3005



防災シアター入口



地震体験コーナー

平成二五年度 全国消防団員意見発表会

主催：消防庁

平成二六年二月一七日(月)日本消防会館・ニッショーホール(東京都港区虎ノ門)において、全国消防団員意見発表会が消防庁の主催で行われ、全国から選ばれた一〇名の消防団員がそれぞれのテーマに基づ



き自らの意見を発表しました。この大会に、本県から秋田市消防団の工藤徳子団員が出席しました。

員は、「私だから伝えられること」と題し、岩手県釜石市で被災した東日本大震災での経験と、その後、無力と想っていた自分にも何か恩返しができるかと入団したことを踏まえ、消防団員として命を守る、体験と教訓を多くの人に伝えることを使命だと心に誓い、精一杯活動していくことを力強く訴えました。



◆ 消 防 団 員 研 修 ◆

秋田県消防学校

第58期幹部教育		第59期基礎教育	
平成26年1月18日(土)～19日(日)	教育期間	平成26年2月15日(土)～16日(日)	
28人 (15消防団)	入校者数	14人 (7消防団)	
班長以上の階級にある消防団員	対 象 者	入団して概ね3年未満の消防団員	
職責と心構え 現場指揮及び活動要領 (建物火災、林野火災、遭難・搜索) 安全管理 消防活動訓練 訓練礼式 事例研究	教育内容	組織制度 ポンプ操法 救急救助 火災防御 (火災防御戦術、安全対策、緊急自動車運行管理) 災害対策 訓練礼式	



集合写真



消防団名	階 級	氏 名
鹿角市	班 長	関 清 考
北秋田市	班 長	鈴 木 誠 一
能代市	部 長	土 田 雄 一
能代市	副分団長	佐 藤 正 幸
三種町	分 団 長	児 玉 校 也
三種町	副分団長	石 川 正 志
八郎潟町	副分団長	浅 野 政 信
藤里町	班 長	齋 藤 智 晃
藤里町	班 長	伊 藤 孝 年
男鹿市	部 長	石 川 克 紀
男鹿市	班 長	佐 藤 勝 則
由利本荘市	部 長	佐々木 敬
大仙市	班 長	富 田 芳 博
大仙市	部 長	茂 木 隆 市
仙北市	部 長	松 橋 広
仙北市	副分団長	齋 藤 和 美
仙北市	部 長	草 弾 晃
横手市横手	分 団 長	小田嶋 勝 郎
横手市増田	副分団長	佐 藤 富 男
横手市平鹿	部 長	小野寺 仁
横手市平鹿	部 長	柴 田 克 弘
横手市平鹿	部 長	柿 崎 正 博
横手市大雄	副分団長	藤 山 豊 松
湯沢市	部 長	石 田 均
湯沢市	班 長	石 澤 正 樹
湯沢市	部 長	高 橋 宗 男
湯沢市	班 長	高 橋 智
湯沢市	副分団長	横 山 義 孝

入 校 者 名 簿

消防団名	階 級	氏 名
鹿角市	団 員	田 村 剛 之
鹿角市	団 員	吉 村 鉄 也
北秋田市	団 員	長 岐 義 行
北秋田市	団 員	佐 藤 堅 司
男鹿市	班 長	大 越 立
男鹿市	団 員	竹 田 勝
潟上市	団 員	吉 田 佑 司
八郎潟町	団 員	鎌 田 大 輝
八郎潟町	団 員	櫻 田 泰 憲
仙北市	団 員	門 脇 祐 二
仙北市	団 員	真 崎 芳 宏
仙北市	団 員	高 橋 洋
湯沢市	団 員	藤 原 岳 如
湯沢市	団 員	藤 原 勇 太

消防半天・帯・団旗
優勝旗・ゼッケン
手拭・タオル・のれん
旗幕類名入染物専門

寺 田 染 工 場

横手市清川町 ☎32-0416

支部情報アラカルト

防火標語を決定

鹿角支部では、「消防団百二十年・自治体消防六十五周年」の記念事業として、鹿角市・小坂町の小学六年生を対象に防火標語を募集しました。この記念事業は、小学生に火災予防への関心を持ってもらい、地域と学校そして消防が一体となった火災予防に取り組みことを目的として実施したものです。

鹿角市から一八〇点、小坂町から四八〇点の応募があり、それぞれ最優秀賞一点、優秀賞三点を選考しました。最優秀賞に選ばれた標語は、鹿



角市「もう一度」火もと確認 合言葉、小坂町 火のこわさ 知って行動防ぐ火事 この防火標語は、平成二六年消防出初め式の分列行進において、横断幕に記され行進の先頭を飾ったほか、年始めに消防団員が市町全戸に配布している「火の用心」のお札にも記載されました。

このほかにも鹿角市・小坂町の防火標語として、今年一年の消防操法訓練大会などの消防団活動や、鹿角市・小坂町で開催される各種イベントで、防火標語入りのポケットティッシュを配り、火災予防の普及啓発活動を展開していきます。

今回の事業により、多くの小学生に火災予防の意識向上が図られました。今後も火災のない安全安心な地域づくりのため、様々な活動を実施していきます。



〔情報提供〕鹿角支部

平成二六年度 秋田県山火事予防運動

この運動は、山火事が多発する春季において、県民一人ひとりに山火事予防思想の普及を図り、森林資源と自然環境の保全に努めることを目的に実施するものです。

統一標語 守りたい

森の輝き 防火の心

実施期間 平成二六年四月一日(火)～五月三十一日(土)までの二ヶ月間

火災の発生状況(速報値)

(秋田県総合防災課調べ)

Table with 7 columns: Category, Heisei 26 Feb, Heisei 26 Cumulative, Heisei 25 Feb, Heisei 25 Cumulative, Heisei 25 Annual, Comparison Feb, Comparison Cumulative. Rows include buildings, forests, vehicles, etc.

トーハツ消防ポンプ モリタ自動車ポンプ 消防被服全般 秋田県代理店 総合防災設備センター

株式会社 高義商会

- トーハツ小型動力ポンプ
モリタ自動車ポンプ
ジェットホース
消防被服全般
火災報知器各種
消火器各種



〒012-0105 本社 湯沢市川連町字万九郎屋布32 電話(0183)(42)2125
〒012-0844 湯沢市田町 電話(0183)(73)2588

株式会社 夕カギ

秋田県横手市寿町1番28号 TEL (0182)(32)3880

(営業種目)

- 日本機械自動車ポンプ
トーハツポンプ
各種消防機械器具
消防設備保守点検
キンパイホース
シバウラポンプ
各種消火器

ホームページ http://www17.ocn.ne.jp/~takagi/
E-mail ykttkg@jasmine.ocn.ne.jp